



黒島は、硫黄島から約1時間で到着する村最大の島で、東西に大里と片泊の二つの集落があり、村の人口の約半数が居住します。

周囲15.2km、面積15.3km<sup>2</sup>、標高622mの檜岳を最高峰に、500m級の山々がそびえ、断崖絶壁の海岸線には、無数の滝が見られる森林と大名竹に覆われ自然が豊かであり、平成28年7月「薩摩黒島の森林植物群落」として国の天然記念物指定を受けました。



### 黒島の名所・特産品



①塩手鼻  
イシダイなどの好漁場として知られる黒島有数の景勝地です。

②イバドンの巣  
平家の残党を討伐しにきた源氏の武将、大庭三郎家の墓です。大庭さんがなり、イバドンと呼ばれるようになったと伝えられています。

③白衣観音像  
明治28年台風で塩手鼻に避難していた枕崎の難漁船が突屋にあおりて岩場に激突し、411名が亡くなりました。犠牲者を悼み建てられたのがこの白衣観音像です。

④黒尾大明神社  
昔から九郎大明神とも黒尾大明神とも言われています。文禄4年(1595)以来の棟札がありますが、古い記録には祭神不明とされています。

⑤有吉佐和子文学記念碑

黒島を舞台とした小説「私は忘れない」(昭和34年、同年映画化)を発表した作家、有吉佐和子さんを偲び、文学記念碑が建立されています。

⑥黒島平和公園  
公園内には、太平洋戦争中に黒島に不時着した元特攻隊員が、戦友の慰靈と平和への祈りを込めて建立した特攻平和観音像や、平和の鐘があります。毎年5月には、平和祈年祭が開かれています。

⑦オニメン

九月一日に行われる黒島のハロウィンでは、オニメンが登場。

手に持ったスリコギを棒で殴まれる厄が祓われると言われています。

オニメン



黒島の住民から  
メッセージ



島のここが好き！

本土から隔離されているからいろいろ大変なことはあるけれども、隔離されているがゆえに、島独自の伝統文化がたくさん残されているところが好きです。自然の豊かさと厳しさが身にしみてわかる島だと思います。

関村裕太さん

大里地区：Iターン  
畜産農家を目指して準備中



将来はこんな島に！

「黒島」という島は日本に何個があり、どちらかといえば沖縄の「黒島」が有名かもしれません。でも、将来は「黒島」と聞けば鹿児島のこの島を思い浮かべてもらえるように、産業おこしや伝統文化の発信をしていきたいです。

島のここが好き！

時間に追われるごとなく、のひのひと自然の中で子育てができます。子どもが小さいうちは、じっくりと親子で向き合える環境が大事だと思いますが、黒島ではそれが実現できます。誰もが子どもを気にかけてくれるし、手を差し伸べてくれるなど、地域ぐるみで子どもを育てる雰囲気があります。塾はありませんが、先生がマンツーマンで教えてくれるので、島の子どもたちちは学力が高く、進学率も高いです。

将来はこんな島に！

島のすばらしい自然、昔ながらの生活文化や、人と人の密なつながりなどを後世に受け継ぎ、みんなのふるさとの存在の島になればいいと思います。そして、皆がここで幸せに生涯を終えることができる島であってほしいです。



山田千帆さん  
片泊地区

結婚して島へ  
民宿経営



将来はこんな島に！

島のすばらしい自然、昔ながらの生活文化や、人と人の密なつながりなどを後世に受け継ぎ、みんなのふるさとの存在の島になればいいと思います。そして、皆がここで幸せに生涯を終えることができる島であってほしいです。